

全天候型測定データ記録装置

積雪深計取扱説明書

【KDC-S6】

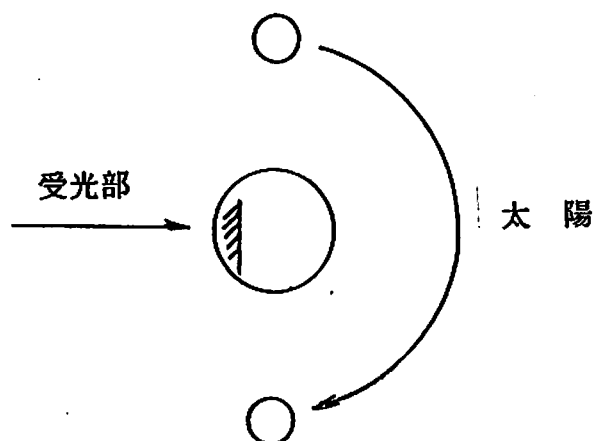
平成2年11月5日作成

コーナシステム株式会社

1. 積雪深計設置方法

1-1. センサーの取付

支柱に積雪深計センサー受光部を直射日光を避ける形で取り付けて下さい。



1-2. 機器の構成

別紙、図-1の構成で測定します。

2. 測定動作

2-1. KADC-UPをパルス積算モード10分インターバル（又は、1時間インターバル）【2-10】（【2-60】）に設定し、測定状態とします。

2-2. 積雪深計のスイッチ、SW-2を別紙表-1により設定します。

（10分、1本 → 1 ・ 10分、5本 → 5）

2-3. 電源スイッチ、SW-1をONにします。

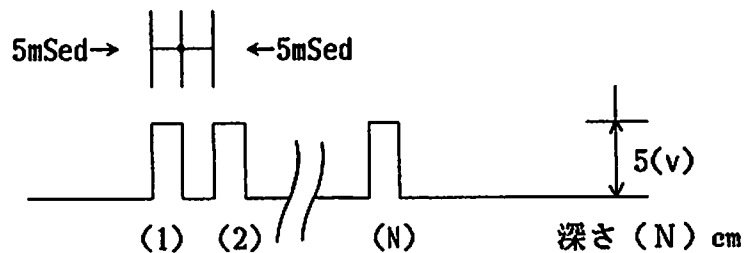
動作表示用LEDが、3～5秒（雪の深さにより変化する）間点灯します。

以後、消灯する事を確認して下さい。

2-4. 測定値の出力

測定値は、パルスで出力され、動作表示用LEDが点灯中に出力されます。

パルスの特性を以下に示します。



3. データの回収

KADEC-UPを停止させ、データを回収します。

(この時、積雪深計コントローラー側は、測定状態でかまいません。)

4. データ処理

スタンダードソフトで処理します。

5. 動作チェック

5-1. 現場チェック

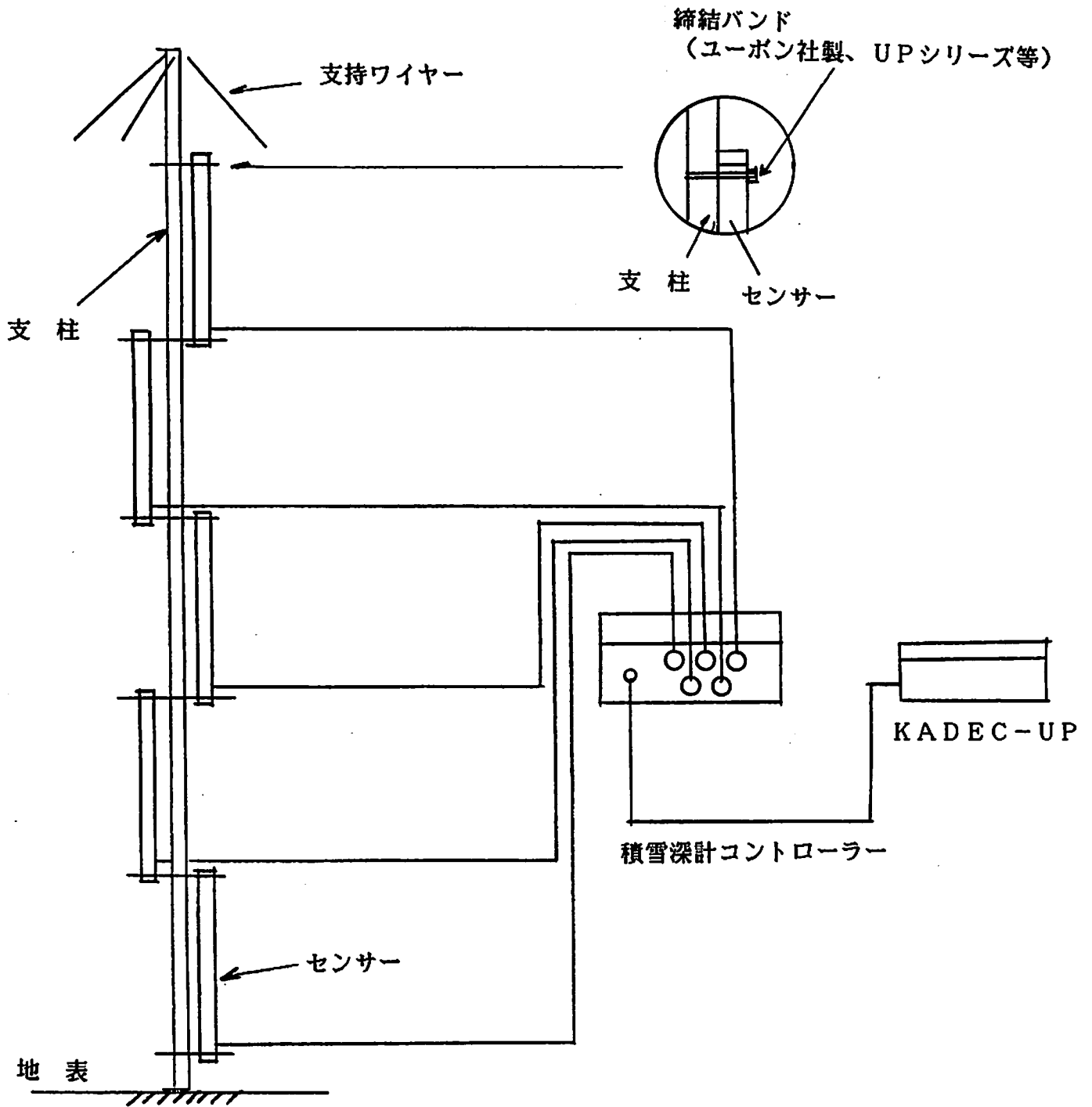
測定モードの1分インターバル、及び、KADEC-UPの1分インターバル測定にて、1分ごとに測定が行われ表示するため、短時間でチェックが行えます。

5-2. パソコンによるチェック

通信モードにし、各種のチェックが可能です。

(別途お問い合わせ下さい。)

別紙 図-1. 機器構成図

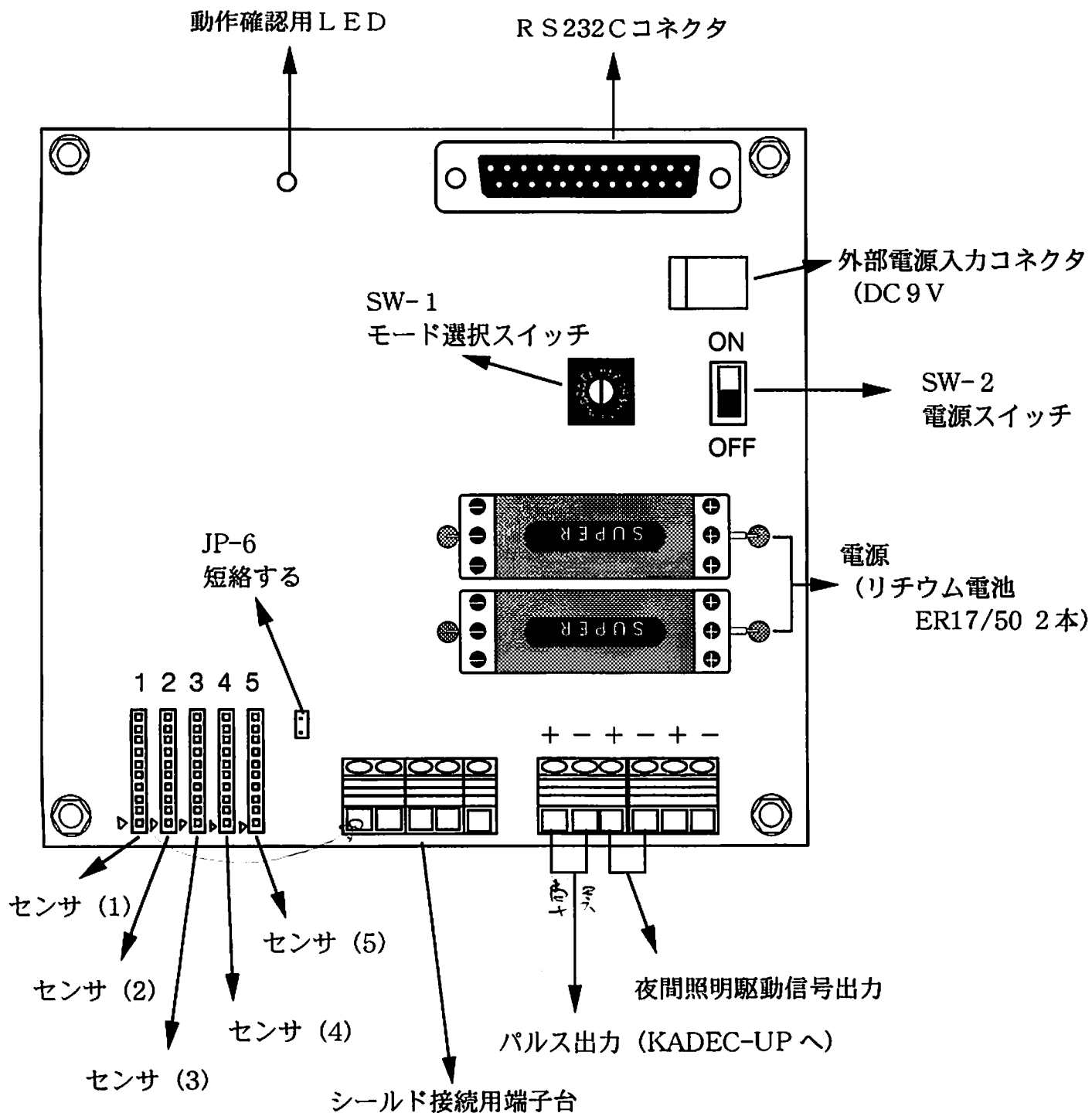


別紙. 表-1 積雪深計コントローラーモードスイッチ機能表

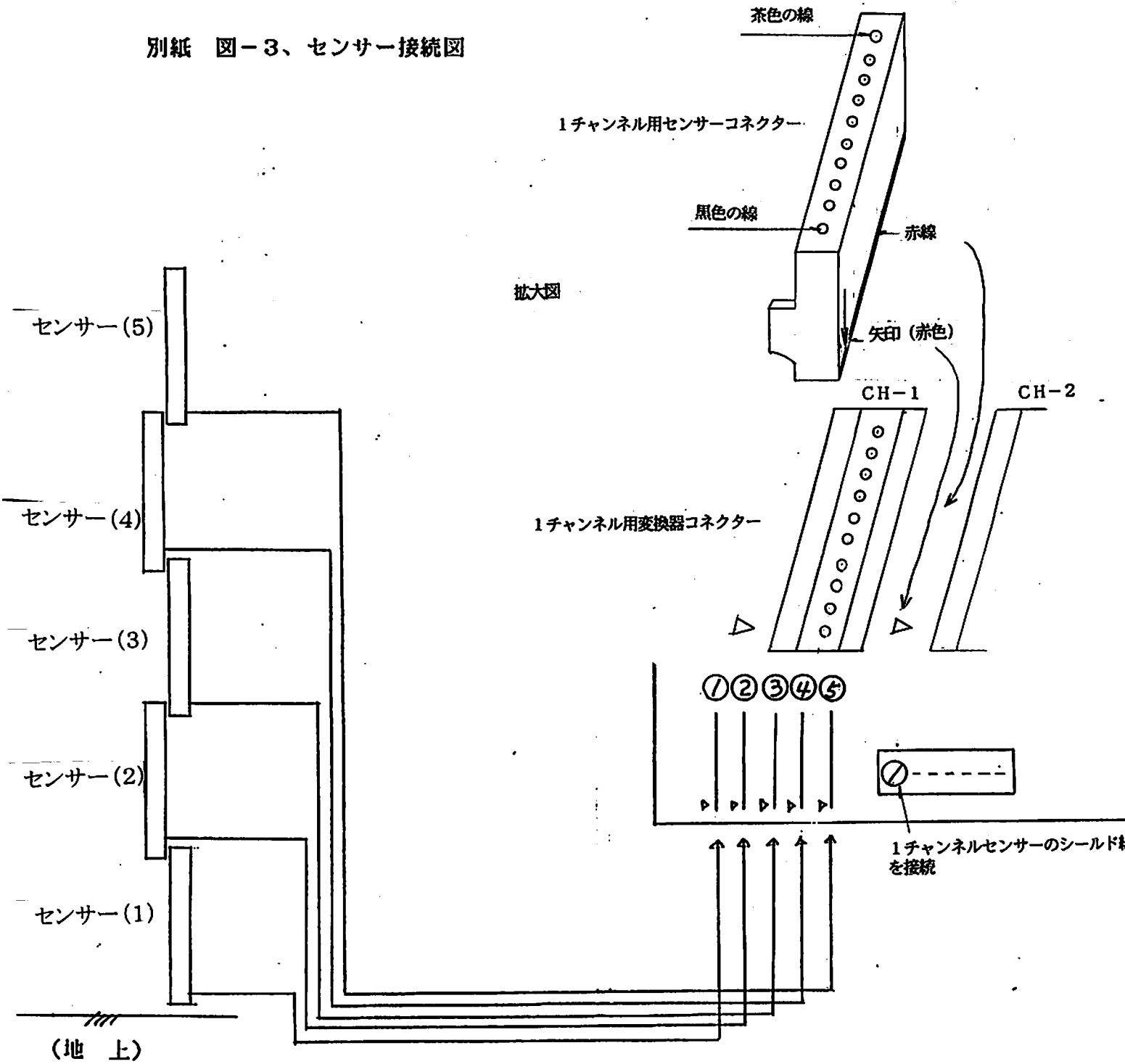
(注) 通信モードは、外部電源を使用して下さい。

	モード	記 事
0	通信モード	9600bps、8bit、25top
1	10分インターバル1本モード	
2	10分インターバル2本モード	
3	10分インターバル3本モード	
4	10分インターバル4本モード	
5	10分インターバル5本モード	
6	1時間インターバル1本モード	
7	1時間インターバル2本モード	
8	1時間インターバル3本モード	
9	1時間インターバル4本モード	
A	1時間インターバル5本モード	
B	1分インターバル1本モード	主にテストモード
C	1分インターバル2本モード	主にテストモード
D	1分インターバル3本モード	主にテストモード
E	1分インターバル4本モード	主にテストモード
F	1分インターバル5本モード	主にテストモード

別紙 図-2、積雪深計コントローラ各部機能名称図



別紙 図-3、センサー接続図



接続時コネクタの赤→と、変換器の▷とを合わせて下さい。